

令和元年度 能代山本定住自立圏共生ビジョン懇談会の概要

○日 時 令和2年1月27日(月) 午前10時～11時5分

○場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

○案 件

(1) 基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況について

区 分	委員からの意見等
全体	目標指標等のデータは積み上げてきているが、それを結果として捉えて終わるのではなく、市町の首長レベルで共通認識を持つ必要がある。30年先を見据えて、緊張感をもって取り組んでいかないといけない。
出生数	自治体によっては増加している例もあるが、一時的なものと思われ、決して楽観視できない。
要介護(要支援)認定者数	社会情勢からすると、「予防」の視点も必要だと思う。
人口の社会増減数・市町への相談を経た移住者数	移住定住の分野に関して、1人移住した場合の経済効果が出ていない。行政として経済効果を明確にするべきではないか。移住だけでなく、移住後のフォローも充実させ、定住環境の整備にも力を入れていかなければならない。 東京と比較して物価の差がそれほどない一方で、賃金は大きな差がある。生活面以外に価値を見いだせる人はほんの一部しかいないのが現実である。そうした意味で、まずは若者が稼げる地域になることが必要である。 移住者の中には、田舎の生活に慣れず、息苦しさを感じている人も多い。地域で移住者を応援してあげられる雰囲気をつくっていかねばならない。
結婚支援	圏域それぞれで頑張っている団体はあるが、ネットワークが構築されていない。行政が繋ぎ役を担ってくれれば、情報交換もしやすくなる。
市町村間の連携	中心市は医師会と連携がとれているが、各町までその連携が広がらないことがある。自治体単独では実現できないことが増えてきている中で、職員の意識改革も必要である。

(2) 次期共生ビジョンの策定について

区 分	委員からの意見等
スケジュール	策定までの具体的なタイムスケジュールを示してほしい。